

知っていれば安心



上級

ステージ

全5問 / 完了目安 2分

- 何度でもチャレンジできます。
- ステージごとに認定スタンプを進呈します。
- 全てのステージをチャレンジした方にはデジタルオフアープレゼント
- 途中で前のページに戻ったりすると回答がリセットされる場合があります。
- 防災模試では災害時の重要な知識を確認できますが、災害によって状況は異なります。状況にあった最適な判断をしましょう。

スタート

経過時間 00:00

Q1 このピクトグラムが示す場所は次のうちどれ？



「JIS Z8210」より引用

非常口

避難所

避難場所

解答する

Q1 このピクトグラムが示す場所は次のうちどれ？

正解は

避難場所



「JIS Z8210」より引用

このピクトグラムは「避難場所」を示します。「避難場所」は、大地震発生後の延焼火災などの危険から迅速に命を守るために避難する場所で、大きな公園や広場が該当します。津波に関してはこれと別に「津波避難場所」のピクトグラムがあり、高台などの避難場所を示します。

他の選択肢についても解説しておきましょう。

「非常口」を示すピクトグラムはこれ。



日常でもよく目にするのではないのでしょうか。職場や、よく利用する施設等でこのピクトグラムがある場所を日頃から確認しておくとういことです。

「避難所」を示すピクトグラムはこれ。



「JIS Z8210」より引用

「避難所」は、地震などで建物が倒壊し、行き場がなくなってしまった方々を一時的に受け入れる場所で、公民館や体育館などの屋内の施設が該当します。災害に関する情報や救援物資なども提供されます。しかしながら、必要な物資がすぐに提供されるわけではないことから、平時からご自身で食糧や生活必需品等を準備して、すぐに持ち出すことができるようにしておくことが重要です。

また、避難場所と避難所の違いを理解し、災害時に的確な避難ができるよう準備しておきましょう。

次に進む

経過時間 00:00

Q2 大雨の際に災害発生の危険度を色で示すサービス「キキクル」で、「警戒レベル4」に相当する色は？



黒

紫

赤

解答する

経過時間 00:15

Q2 大雨の際に災害発生の危険度を色で示すサービス「キキクル」で、「警戒レベル4」に相当する色は？

正解は

紫

「キキクル（危険度分布）」では、大雨の際の土砂災害・浸水・洪水といった災害が起きる危険度を知ることができます。スマートフォンまたはパソコンを使って、気象庁のホームページからリアルタイムの情報が確認できるので、大雨のときに役立てましょう。

2022年6月30日に、キキクルで表示される色に変更されました。以前は、警戒レベル4相当は「うす紫」と「濃い紫」で示されていましたが、現在では「紫」に統一されています。加えて、警戒レベル5相当の「黒」が新たに導入されました。黒は大雨による災害が既に発生している可能性が高い状況で出現するため、黒を待たず、紫が出現した段階で速やかに安全な場所に避難することが重要となります。

警戒レベル

新たな避難情報など

5

緊急安全確保

警戒レベル 4 までに**必ず避難!**

4

避難指示



3

高齢者など避難

2

大雨・洪水・高潮注意報

1

早期注意情報

今日初めてキキクルを知った方は今後忘れないように、これまでキキクルを利用していた方もこれを機に覚え直すようにしましょう。

次に進む

経過時間 00:00

Q3 災害が起こり停電した自宅から避難することになったあなた。避難の前すべきこととして誤っているのはどれ？



避難する場所をメモして室内に貼っておく

ブレーカーを落としておく

扉は開けっぱなしにする

解答する

経過時間 00:15

Q3 災害が起こり停電した自宅から避難することになったあなた。避難の前すべきこととして誤っているのはどれ？

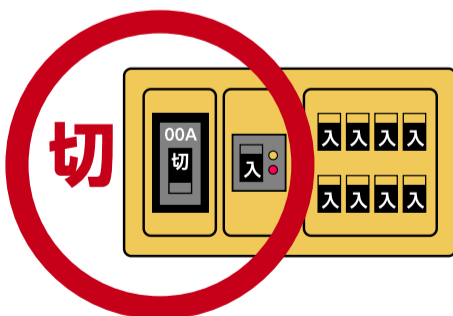
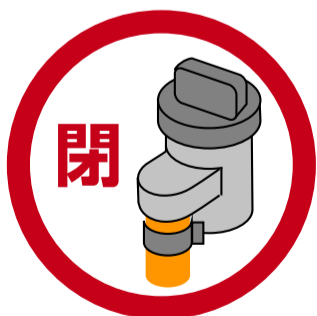
正解は

扉は開けっぱなしにする

地震発生の際には避難経路確保のため扉を開けることが必要でした。しかし、ドアを開けたまま避難してしまうと空き巣など防犯上のリスクが高いです。しっかりと戸締りをしてから自宅を出しましょう。

避難場所で家族と落ち合えるよう、自分や家族の安否情報、および避難場所を記した貼り紙を残すのは効果的です。あらかじめ決めておいた場所に残していきましょう。ただし、ドアなど外側に貼ると防犯上のリスクになりますので、ご注意ください。NTTが提供する「災害用伝言ダイヤル（171）」により安否に関する録音を残すこともできます。

停電後に電気が復旧する際には「通電火災」と呼ばれる火災が発生する危険があります。避難中の自宅で火災が発生すると、発見が遅れ大規模な被害を招くことがあります。そのような悲劇を避けるため、ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてから避難するようにしましょう。



次に進む

経過時間 00:00

Q4

ケガの応急処置に重要なことをまとめた言葉。次のうちどれ？



RICE

BEEF

FISH

解答する

Q4 ケガの応急処置に重要なことをまとめた言葉。次のうちどれ？

正解は

RICE

災害時に思わぬ怪我をしてしまうも、病院が空いていない…そのような時のために自分でできる応急処置「RICE」を覚えておくと効果的です。これは、Rest（安静）、Ice（冷却）、Compression（圧迫）、Elevation（挙上）という4つの処置の頭文字を取ったもので、行うことで痛みや腫れを軽くすることができます。いざという時に備え、それぞれの処置の内容についても調べておくと安心です。



次に進む

経過時間 00:00

Q5

近年(2003年以降)の大規模地震による負傷者の約30~50%に該当する原因として正しいのはどれ？



揺れによる転倒

家具の転倒や落下

建物の倒壊

解答する

Q5 近年(2003年以降)の大規模地震による負傷者の約30~50%に該当する原因として正しいのはどれ?

正解は

家具の転倒や落下

近年(2003年以降)発生した大規模な地震において、負傷者の約30~50%が

「家具の転倒・落下・移動」によって負傷しているというデータがあります。例えば2007年の新潟県中越沖地震では負傷者の40.7%、2008年の岩手・宮城内陸地震では負傷者の44.6%が家具の転倒などで負傷しています。

「部屋に物をたくさん置きすぎない」や「倒れてきても下敷きにならないような家具の配置を心がける」などの基本的な対策のほか、器具による家具の転倒対策などを行うことによって、負傷のリスクを低減させることができます。

一番確実な転倒対策は、壁にL型金具でネジ止めすること。それが難しい場合は、突っ張り棒とストッパー式や粘着マット式の家具転倒防止器具などを組み合わせても十分な対策になります。また、キャスター付きの家具をきちんとロックしたり、吊り下げ式の照明器具をチェーンやワイヤーで結んだりすることも有効な対策です。身近なところから、怪我のリスクをなくしていきましょう。



次に進む